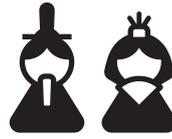


タンネウシ



3月号

タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

写真展「春の日、モモの日 —エゾモモンガの物語—」

北海道に棲む哺乳類の中でも特に人気の高いエゾモモンガ。夜行性の動物ですが、恋する時期は昼間も活発に動きます。精一杯生きるエゾモモンガの豊かな表情や姿をぜひご覧ください。▶撮影：今泉俊雄さん(釧路市在住)▶会期：3月6日(土)～4月18日(日)▶場所：交流記念館ホール▶本展示のみの観覧は無料です。



エゾモモンガ (撮影 今泉俊雄)

博物館講座「アクセサリーを コツコツ(骨々)作ろう!」

動物の骨を使ってアクセサリーを作ります。海や陸の生き物の骨は硬さや質感がどう違うのでしょうか?アクセサリー作りを通して骨について学んでみましょう。▶日時：3月28日(日)10:00～12:00▶定員：10名(小学3年生以上対象)▶材料費：300円(博物館協力会員は無料)▶担当：合地学芸員▶会場：交流記念館2F実習室▶要申込：前日までに博物館(TEL：0152-23-1256)へご連絡くだ

さい。▶汚れても良い服装でお越しください。



シカの角で作った指輪とネックレス

収蔵資料展示「美しい装身具」

日本独自の繊細で美しい装飾が施されたくしやかんざし、こうがいなどの髪飾りや髪結い道具のほか、北海道開拓時に本州から移住してきた人々の手鏡などを展示しています。▶会期：3月31日(水)まで▶場所：博物館本館受付前▶本展示のみの観覧は無料です。



くしと手鏡 (知床博物館蔵)

展示更新「知床に棲む魚が泳ぐ 大型水槽」

交流記念館ロビーに新しい展示

が増えました。知床の川に棲む魚たちが泳ぐ生体展示です。運が良ければ、普段は石の下に隠れている魚に遭遇できるかも?近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。▶本展示のみの観覧は無料です。



水槽で泳ぐオショロコマ

学芸員のイチオシ



ドラフティングテープ

一度貼った紙などに粘着物を残さずに再び剥がすことができる低粘着性のテープです。大事な資料や物に万一、粘着物がついてしまうリスクを大きく下げられることから、展示や資料梱包に用いることがあります。(三)

休館日 3月の休館日は1・8・15・22・29日(月)、20日(土)です。

編集後記 特別展「鮭と川と人と」にお越しいただきありがとうございました。(三)